

はねっと 1

仙台市市民活動サポートセンター通信 ばれっと

“ばれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

市民活動団体を紹介「市民活動突撃レポート!」

郷土芸能が「大好き」な応援団長

ゆるく楽しく集まれる居場所

「じぶんち」は、郷土芸能ファン3人が開くオンラインの集まりです。「郷土芸能の面白さを伝えたい!」と、郷土芸能のファンや担い手等が集まるオンライン座談会をし、話した内容をフリーペーパー「郷土芸能じぶんち」にまとめて、ホームページやSNS上で公開。年に1回冊子にして発行しています。じぶんちを運営しているのは、千葉県在住の「ノギ」さん、岩手県在住の「と」さん、宮城県在住の「伊万里」さんです。活動の始まりは、2020年4月。新型コロナウイルスの感染拡大により、郷土芸能が披露される地域の例大祭などの行事が相次いで中止に。各地へ出向き、郷土芸能を楽しむ3人の生活は一変しました。SNSを通じ知人だった3人が「気落ちしている時間と暇がもったいない」と、いつか復活する日のため郷土芸能の予習・復習をしようと集まり、好きになったきっかけや推しポイントなどを語ることから始まりました。

郷土芸能にまつわる人を繋ぐ

座談会をするうちに、郷土芸能が気になる人やファンから、「座談会に混ざりたい」と手が挙がるように。なんと郷土芸能団体から「参加者に踊りの話がしたい」と声がかかることもありました。交流の広がりとともに、芸能の担い手も観る人も一緒に楽しむ会になっていきました。座談会の内容充実さに比例して、フリーペーパーの内容も、郷土芸能の道具や、担い手に焦点を当てた直撃取材など多彩でディープな情報へパワーアップ。お面や装束、唄などの切り口から新たなファンも広がりました。話を聞くうち、ファンからは、「応援する気持ちをもっと届けたい」という声、郷土芸能団体からは、「人手不足と高齢化が進みどうしたら…」と悩む声が寄せられました。そこで、2020年12月からは、月に1回、「かわら版じぶんち」を発行。毎号1つの団体について、見どころや演者の思いを丁寧に伝えると共

に、ファンのために、ご祝儀の渡し方や団体が手伝ってほしいことなど応援方法を取り上げました。また、団体の悩みに対しては、女性を受け入れたり、教育現場へ出向いて子どもたちに踊りを教えたりする他団体の継承方法を掲載しました。

みんなの力を繋ぐ架け橋に

徐々に、郷土芸能の発表の場が復活してきました。「オンライン上でつながりができた仲間や団体の方と会えるのが楽しみ。なるべくたくさんの団体に会いに行きたい」と伊万里さん。「大好き」という気持ちから始まった活動は、たくさんの人を繋ぎ合わせ、郷土芸能が未来へ続く力になっています。

郷土芸能じぶんち

郷土芸能団体の情報を募集しています。「団体を取り上げてほしい」「活動話したい」とお考えの団体は、ホームページのお問合せからご連絡ください。

獅子頭に惚れ込み、関東を中心にシシと名の付く芸能を追っかけ中



ノギさん

ししおどりに惹きこまれ、ししおどり人形も制作



とさん

装束に興味津々。面や笠などで顔が見えない郷土芸能が好き



い万里伊万里さん



▲X(エックス)



▲HP





活動の幅を広げるお役立ち情報「活動に+（プラス）」

NPOの活動現場に企業従業員の力をプラス

NPOにとってボランティアは、内部のメンバーとは違った視点を持ち込んでくれる存在です。また、単なる「人手」ではなく、NPOが取り組む社会課題を理解し、活動への共感を地域につないでくれる存在でもあります。ボランティアを募集する際に活用できるツールの一つに、「ボランティアウェブ」があります。

ボランティアウェブは、企業従業員をNPO等のボランティア活動につなぐマッチングサイトです。運営するのは、「人と企業の社会貢献活動を応援する」中間支援組織、公益社団法人日本フィランソロピー協会（以下、協会）です。サイトには、従業員を社会課題解決の場に送りたいと考える大企業や中小企業19社が登録。地方支店で働く従業員の活動先として、協会は各地域のボランティア情報を募集しています。NPOの情報登録は無料。協会は、「企業の社会貢献への関心が高まっています。企業との接点づくりや活動の意義を発信する場として活用してほしい」と呼び掛けています。



▲年間約6,000人（2022年のべ人数／全国）の従業員が現場・在宅での活動に参加

公益社団法人 日本フィランソロピー協会

TEL 03-5205-7580



▲ボランティアウェブ



サポセンを活用した人たちが「私のあしあと」

動画制作講座の受講生が、団体のPR動画を配信中！

サポセンでは、昨年2月5日・3月4日の2日間、市民活動団体を対象に、動画制作講座を開催しました。コロナ禍での情報発信に対する課題感や不安の声を受け企画。ビデオグラファーの講師から、スマホでできる動画の撮影・編集の基本を学びました。現在、講座で得た学びを活かし、各団体のSNSでは動画が配信されています。参加団体は「配信後、SNS経由の問い合わせが少しずつ増えている」と動画配信の効果を実感しています。



▲講座の様子



▲富谷壺
居場所妄想会
YouTube



▲グループわらじ
ブログ



▲アソシエスペース
Instagram



▲宮城県
ウォーキング協会
YouTube

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。
「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 1月10日（水）、24日（水）

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日（祝日の場合は翌日木曜日）年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

（指定管理者：特定非営利活動法人

せんだいみやぎNPOセンター）

発行日 2024年1月4日

デザイン PEACE Inc.

[X(エックス)]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

